

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-2-2		事業名	「元気ショップ」の拡充
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課就労・相談支援担当係 藤崎 TEL211-2936			
全体計画				
事業内容	平成18年12月に開設した「元気ショップ」の安定した運営を目指すとともに、平成22年度をめどに2号店を開設する。 併せて、類似の取組として障がい者団体が運営するJR札幌駅構内の「福祉ショップいこ〜る」の集客向上に向けた取組等を実施し、授産製品の販路拡大とPRを図っていく。		＜年度別の事業内容＞	
			<ul style="list-style-type: none"> ・19年度 元気ショップ、福祉ショップいこ〜るの運営 ・20年度 元気ショップ等の安定運営と2号店開設に向けた調査の実施 ・21年度 2号店開設及び既存施設の機能強化に関する基本計画等を作成 ・22年度 2号店開設(予定) 	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	(20年度調査経費からの計画事業化)		<ul style="list-style-type: none"> ・元気ショップ2号店開設等調査 1,397千円 	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>元気ショップ2号店開設調査の結果、既存店舗を拡充して、物品販売を進めていく方向性を決定し、平成22年度に設計、工事を実施することとした。また、併せて、福祉ショップ「いこ〜る」の店舗内整備を実施する。</p>		<p>■拡充概要</p> <p>①元気ショップ 元気ショップ店舗をふれあい広場の方へ拡充し、売り場面積を現在の約2倍(52.42→96.23㎡)とし、現在委託販売をしている対象商品を500品目から約1,400品目に増やすとともに、車いす使用者等が円滑に利用できるよう、店舗内通路スペースを確保する。</p> <p>②福祉ショップ「いこ〜る」 元気ショップで好評な食品の充実やイートインスペースを設置したり、電照広告版を設置し、認知度の向上を図る。</p> <p>■工事概要 実施設計後、H22.10月末～H23.2の工事期間を経て、3/17にリニューアルオープンを行った。</p>	

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-2-2			事業名	「元気ショップ」の拡充			
達成目標の状況								
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
「元気ショップ」の拡充		－	－	調査	既存店舗拡 張	開設	開設	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>■市民との連携、市民参加 元気ショップ、いこ～るを訪れる市民の製品購入を通じた障がい理解の促進が期待できる。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]元気ショップ、いこ～るとともに障がい者の雇用の場となっており、2号店開設は雇用機会の拡大と障がい者の所得増が期待できる。また、今後、資金協力といった観点も含め民間企業を巻き込んだ展開を検討していきたいと考えている。 [人材協力]施設等の製品の質的向上を目指して、民間の専門家をアドバイザーとして派遣する取組を別事業で行っており、当該取組との連携を図り民間企業等の優れた人材や技術を生かしていきたいと考えている。 [情報協力]今後、情報といった観点も含め民間企業を巻き込んだ展開を検討していきたいと考えている。 [その他の協力]今後、民間企業を巻き込んだ展開を検討していく中でさまざまな協力のあり方を議論していきたいと考えている。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 20年6月から企業や団体・個人がさまざまなかたちで元気ショップを応援するサポーター制度を開始し、現在までに41団体・個人、総勢1,500名余が販売機会の提供や定期的な購入、元気ショップの周知活動などで活躍している。 今後もこのサポーター制度を軸に民間企業等を巻き込んだ展開を検討し、市民や企業が参加しやすい環境づくりを進めていきたい。</p>								
評価(成果)				課題				
<p>元気ショップに関しては立地条件が良いことと、イベント開催などによるPR効果から開設当初の目標どおりの売上げとなっており、その結果、障がいのある方の働く意欲の向上につながっている。今後、安定運営化に向け、市民や民間企業をさらに巻き込んだ展開も検討していきたいと考えている。</p> <p>「福祉ショップいこ～る」についても「元気ショップいこ～る」と改名し、ロゴマークも共通化する等、障がい者授産製品の常設販売所として、市民に分りやすくブランディング化を図った。</p>				<p>どのような商品が求められているのかを調査研究するとともに、より安定的な販路確保や販売方法等の工夫を行い、障がいのある方の工賃向上に反映できるよう、さらに検討していくことが必要と考えている。</p>				
今後の事業の予定・方向								
<p>拡充整備後の売上実績が好調であるため、今後についても、これを維持しつつ、より安定的な販路確保や顧客ニーズに合わせた商品開発等について、さらに取り組みを進める必要がある。</p>								

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-2-2		事業名		「元気ショップ」の拡充				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	1,000	0	29,000	30,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	0	1,000	0	29,000	30,000					
予算	事業費	0	1,000	0	62,800	63,800				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	0	1,000	0	62,800	63,800					
実績	事業費	0	1,397	0	52,102	53,499				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	0	1,397	0	52,102	53,499					
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					178.3%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
<p>《全体》</p> <p>[19年度]</p> <p>[20年度]</p> <p>【予算額】1,000千円【実績額】1,397千円【事業内容】以下のとおり 障がいのある方の地域での自立を支えている作業工賃の増や、市民の製品購入を通じた障がい者理解促進の代表的存在となっている元気ショップについて、2号店開設するにあたり、店舗形態や、既存店舗(元気ショップ、福祉ショップいこ〜るなど)との関係性等を調査を調査・整理する。</p> <p>【時期】平成21年2月6日～平成21年3月31日【計画との差異の理由】当初予定していた調査内容より必要と考える調査項目が増えたため。</p> <p>[21年度]</p> <p>2号店開設に関する調査結果を基に、新店舗設置ではなく、既存店舗の拡充を図る方向性とした。</p> <p>[22年度]</p> <p>【予算額】62,800千円【実績額】52,102千円 「元気ショップ」の店舗拡充整備及び「元気ショップいこ〜る」の店舗改修</p>										